

文京区立第八中学校 国際理解教室11/22(月)感想

①「外国での生活」 阿部清様

今日のご講演してくださり、ありがとうございました。ドイツの子供はとにかく自分の考え・意見を持つようにと教育されるのですね。私は他人と同調・調和、そして自分の意見をはっきり言えない自分や、日本の社会の風潮がちょっと苦しいな・・・とたまに感じるのでドイツの話はとても面白かったです。そしてやはり多文化を理解し、尊重することが重要ですね。(1年)

今日は第八中学校に来て頂き、ありがとうございました。ドイツには日本と違うことがあり、マナーが悪いことや、冬が長い、四季の変化が乏しい、絵画より音楽的、自己主張、音に対して神経質など、色々なことが分かりました。今日のお話を聞き、一度ドイツに行ってみたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。(1年)

今日のお話を聞いて、私が学んだことは、日本とドイツのルールなどが全く異なるということで、先生がおっしゃっていたゲルマンの教育など、ドイツは厳しいのだなと思い、あらためて日本の良さを感じました。ドイツは日本と違い、共同社会であるため、日本よりも遙かに街がきれいであることを知り、ドイツの良さもたくさん感じることができました。私もドイツに行ってみたいです。(1年)

今日は第八中学校で講演して下さい、ありがとうございました。ドイツでは冬が長いので、よく考えて行動することが分かりました。ドイツはモーツァルトや、シューベルト等の有名な作曲家の出身地だったり、日本にはドイツの言葉が残っていたりと、日本との関わりがあることが分かりました。ドイツの街並みは、家の高さや色が統一されていて、とてもきれいだと思いました。ドイツは東京の面積と同じくらいなのに、ドイツは地方分権型で、街並の美観の保持など、日本と違うところを知れて、面白かったです。ドイツのことに興味を持ったので、機会があったら、ドイツに行ってみたいと思いました。今日はありがとうございました。(1年)

日本とドイツの違いについてよく分かりました。日本は確かに自分の意見をあまり言わないで、空気を読むことを優先するし、言っていることも「No」と言わないなどのあいまいな言い方で、道路などの雑音も多いけど、ドイツでは論理的に間違っている、自分の意見を言うことが大事だと教育されることや、ルールを守らないと自己責任を問われたり、文句を言われるたりすること、共同体で周りの人が誰にでも注意することが違うと理解できました。そう考えると、とても面白かったです。今日は講演していただき、ありがとうございました。(1年)

今日はドイツの話を教えていただきありがとうございました。私が特に印象に残っているのはブレーメンの音楽隊のお話を聞いたことです。私はブレーメンの音楽隊について調べてことがありませんでした。今回、ブレーメンの音楽隊のお話が、ドイツのお話だと知って、びっくりして興味がわきました。また、色々な国のお話があって、面白かったです。(1年)

文京区立第八中学校 国際理解教室11/22(月)感想

②「異文化・多文化との共生」 河上芳明様

今日は異文化・多文化について話をしてくださり、ありがとうございました。私は、今まで文化の違いなどを意識することがありませんでしたが、考えるきっかけとなりました。印象に残っているのは、日本人と外国人との違いです。車道での日本人との違いが面白く感じました。考えや感じ方が違って、個人個人の意見を大事にするのが大切だと思いました。(2年)

私は普段、多文化や異文化について興味を持ったり、自分から調べてたりしたことがありませんでした。ですが、河上先生のお話を聞いて、「グローバルとはどういう意味なのか」「外国にはどのような文化があるのか」などをもっと知りたいと言う気持ちでいっぱいになりました。これからは私も視野を広く持ち、色々な国に行って、文化を見てみたいと思っています。(2年)

今回は第八中学校にお越しいただきありがとうございました。私は最初、国際を理解するにはその国の宗教や文化を受け入れるのだと思っていました。しかし、今回のお話を聞いて、性別や社会での立場によって、国内でも理解し合うべきものが国際理解につながるということを知りました。それでも、共通していたのは、違いを受け入れ、尊重することだと感じました。日本は違いを認めず、多数の意見の方に流れてしまうので、日本人である私たちがそれを変えていこうと思いました。違いを認め、互いに意見を言い、高め合っていく、そんな国がいいなと思いました。だから、私もしっかり意見を言うようにしていきたいです。今回は、本当にありがとうございました。(3年)

本日はありがとうございました。今回「異文化・多文化との共生」というテーマでお話をさせていただき、特に印象に残っているのは、異文化の切り口です。今まで異文化と聞くと、日本と外国のことをイメージしていましたが、中学校の中の学年でも分かれているということを知り、新しい発想を知ることができました。また、中身が大切と言うことも印象に残っています。文法ができて話せないより、できなくても通じ合えると言うことが、今後グローバル化が進む多文化の世界で大切だと分かりました。私は英語が上手になりたいと思っており、音楽も好きなので、河上先生がすすめていたように、洋楽を聴いて英語が得意になるように頑張ろうと思いました。(3年)

国際理解と聞いたとき、私は言語の壁や異文化の受け入れなどの一般的なことを想像しましたが、今回のお話を聞いて、チェーン店の外国の店舗と国内の店舗の相違点や、家での靴のはき方、ウォシュレットトイレなど、私たちの普段の生活の中でも、様々な違いがあることに気づき、とても面白いなと思いました。また、異文化とは“外国と日本”だけでなく、性別や年齢、職業などのたくさんの切り口があることが分かって、とても印象深かったです。これからは、国際理解についてよく知識を深めていき、異文化を受け入れていく社会・グローバル化する社会でも生きていけるように勉強したいと思いました。(3年)

今日は、国際理解について私たちに教えてくださり、ありがとうございました。日本がグローバル化していく中で、語学力はやはり必要不可欠なものになってきていると思いました。また、私たちの性格や、得意不得意も多様性であり、今の自分を変えたければ、異文化に触れることで、新しい自分になれるのだということを知りました。日本と海外の違いは様々で、どちらが正しいとか、間違っているということはないので、お互い良いところを見習いつつ、尊重し合うことが、何より大切だと思いました。カニかまの原料はロシアで機械が日本、消費するのはフランスが一番多いのに驚きました。多文化は身近なことなので、これからももっと学んでいきたいと思います。(3年)

今日はお話をしていただきありがとうございました。お話の内容はむずかしかったけど、早く大人になって、社会人になりたいと思いました。色々な体験をして成長したいと思いました。(2年)